

WEB アンケートから見る・考える「こうちの男女共同参画」

「第1回 男性の育児休業」 集計結果概要

(実施期間：令和4年4月1日～30日)

令和4年4月1日、育児・介護休業を取得しやすくするために「育児・介護休業法」が改正されました。そこで、ソレでは「男性の育児休業」に関するWEBアンケートを実施。その集計結果をご紹介します。

〈アンケート実施期間と方法〉

令和4年4月1日～30日 (Google フォームを使用)

〈回答者総数〉

436名 (県外20名を含む)

【性別毎の割合】

男性167名 (38.3%) 女性262名 (60.1%) その他3名 (0.7%) 回答しない4名 (0.9%)

【年代毎の割合】

内訳：19歳以下102名 (23.4%) 20歳代108名 (24.8%) 30歳代74名 (17%)

40歳代71名 (16.3%) 50歳代63名 (14.4%) 60歳代17名 (3.9%)

80歳以上1名 (0.2%)

【回答者について】

性別毎の割合では、女性の割合が6割を超えました。また、幅広い年代の方からの回答をいただきました。特に、子育て世代の20～30歳代の方の割合は40%を超えています。

【問1】4月1日から男性の育児休業が取得しやすくなったことをご存じですか？

「知っていた」121名 (27.8%)、「聞いたことがある」116名 (26.6%) に対し「知らなかった」と回答した人は199名 (45.6%) と半数近くにのぼりました。男女別では男性の約6割が「知っていた」「聞いたことがある」と回答しています。

【問2】今回の「育児・介護休業法」改正を機に、育児休業を取得する男性は増えると思いますか？

「増えると思う」は249名 (57.1%)、「増えるとは思わない」は187名 (42.9%) となっており、6割近くの方が制度改正をきっかけに育児休業取得する男性が増えるこ

とに期待を寄せています。男女別の回答では、「増えると思う」と答えた人の割合は、男性が 65.3%、女性 52.3%となっており、男性の方が 10%以上高くなっています。

**【問 2－②】「思わない」を選択された方へ。男性が育児休業を取得しづらいと思う理由。
(選択式・複数回答)**

最も多かったのは「職場の雰囲気が取りづらい」で全体意見の 76.1%を占めました。続いて、「上司の理解が得られにくい」「休業による収入減への不安」が共に 52.7%、「人手不足」が 42.3%となっています。

【問 3】男性の育児休業取得を進めるために、必要と思われること。(選択式・複数回答)

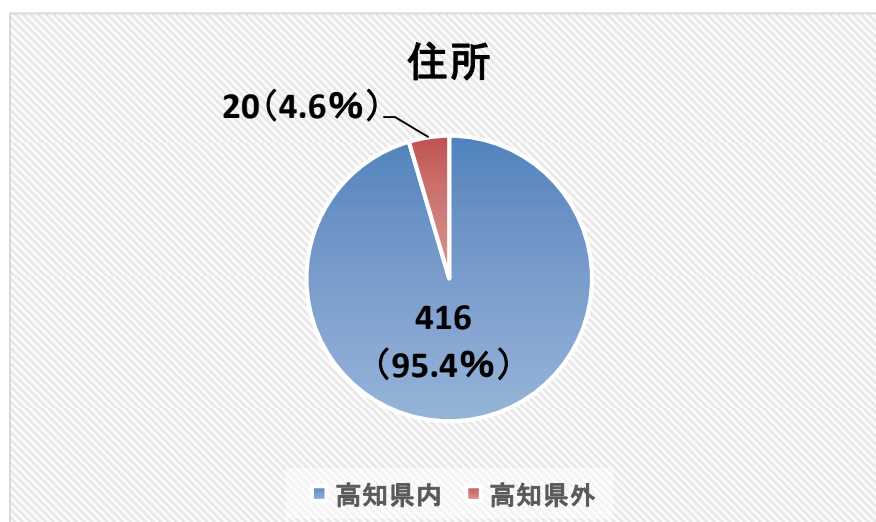
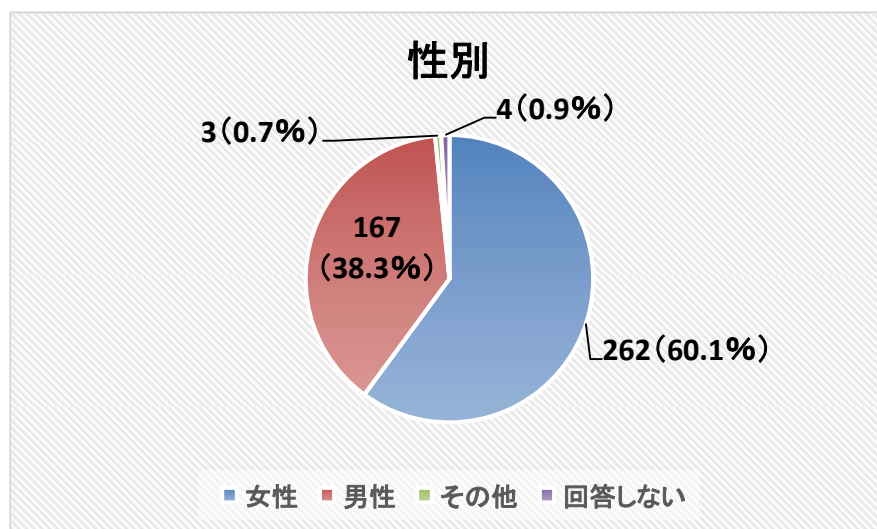
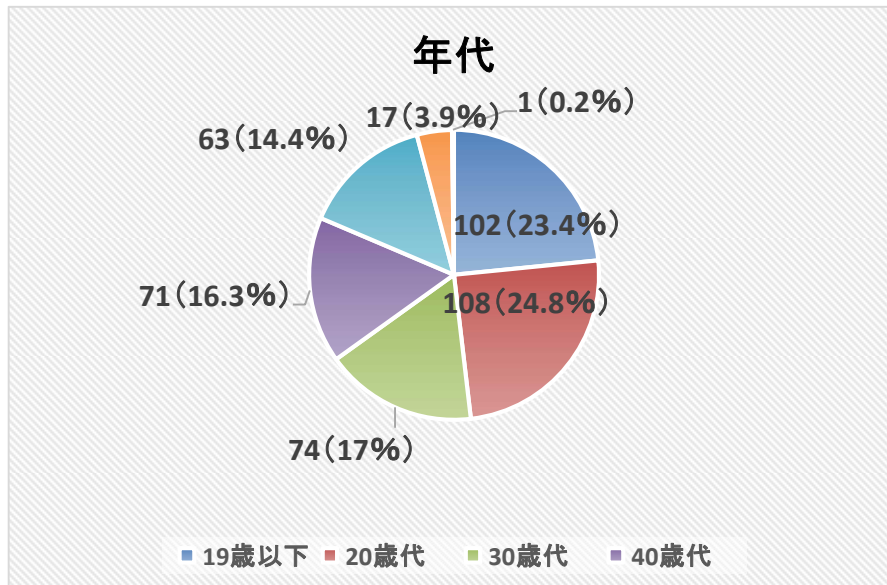
最も多かったのは「職場での取りやすい雰囲気」で全体意見の 75.7%を占めました。続いて「上司の理解」(45.9%)、「職場から取得への後押し」(43.8%)、「職場の人員不足の解消」(42.2%)、「休業中の所得保障充実」(41.5%)が上位を占めています。

【問 4】男性の育児休業期間は、どれくらいの期間あるのが望ましいと思いますか？

性別を問わず一番多い回答は「3ヶ月～1年」で、49.1%でした。次いで「1～3ヶ月」(28.7%)、1年以上(14.4%)となっています。

一方、「必要ない」「1週間以内が望ましい」と答えた方は、全体の 1.4%程度となっています。

【回答者について】



ソーレWEBアンケート「男性の育児休業」集計結果

アンケート実施期間：令和4年4月1日～30日

【回答者について】

年代(全体)

年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
人数	102	108	74	71	63	17		1	436
割合	23.4%	24.8%	17.0%	16.3%	14.4%	3.9%		0.2%	100.0%

性別

性別	女性	男性	その他	回答しない	計
人数	262	167	3	4	436
割合	60.1%	38.3%	0.7%	0.9%	100.0%

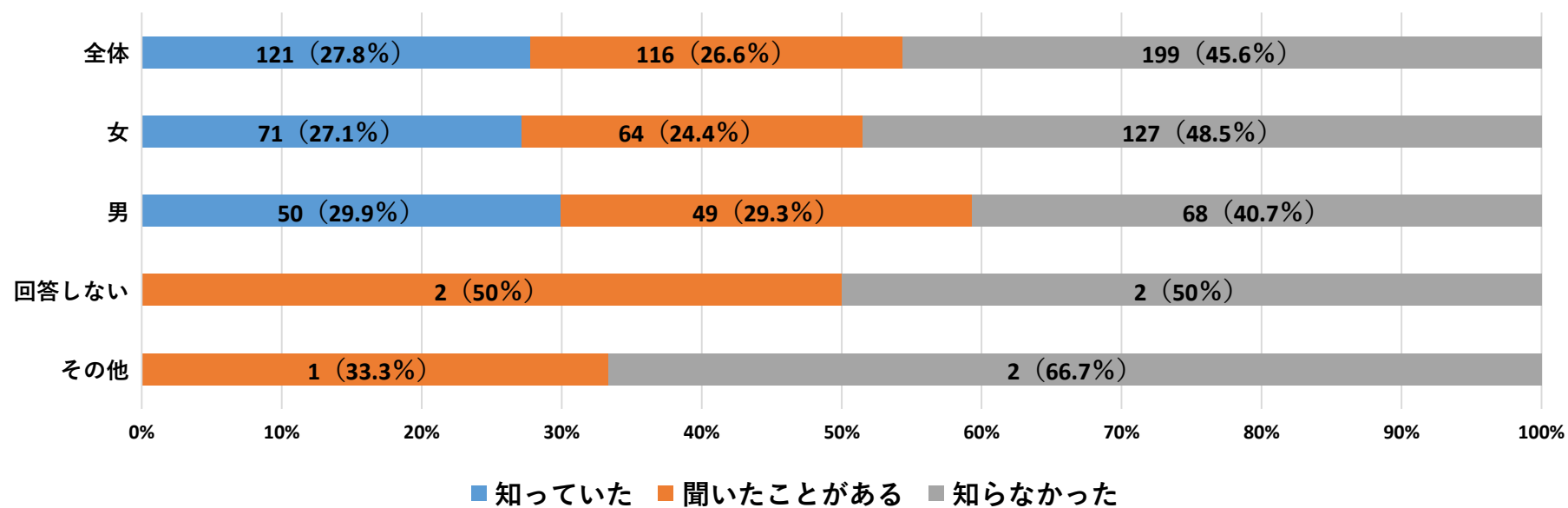
性別(年代分類)

年代	19歳以下	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	計
女	85	80	35	32	22	7		1	262
割合	32.4%	30.5%	13.4%	12.2%	8.4%	2.7%		0.4%	100.0%
男	15	26	38	37	41	10			167
割合	9.0%	15.6%	22.8%	22.2%	24.6%	6.0%			100.0%
その他	1	2							3
割合	33.3%	66.7%							100.0%
回答しない	1		1	2					4
割合	25.0%		25.0%	50.0%					

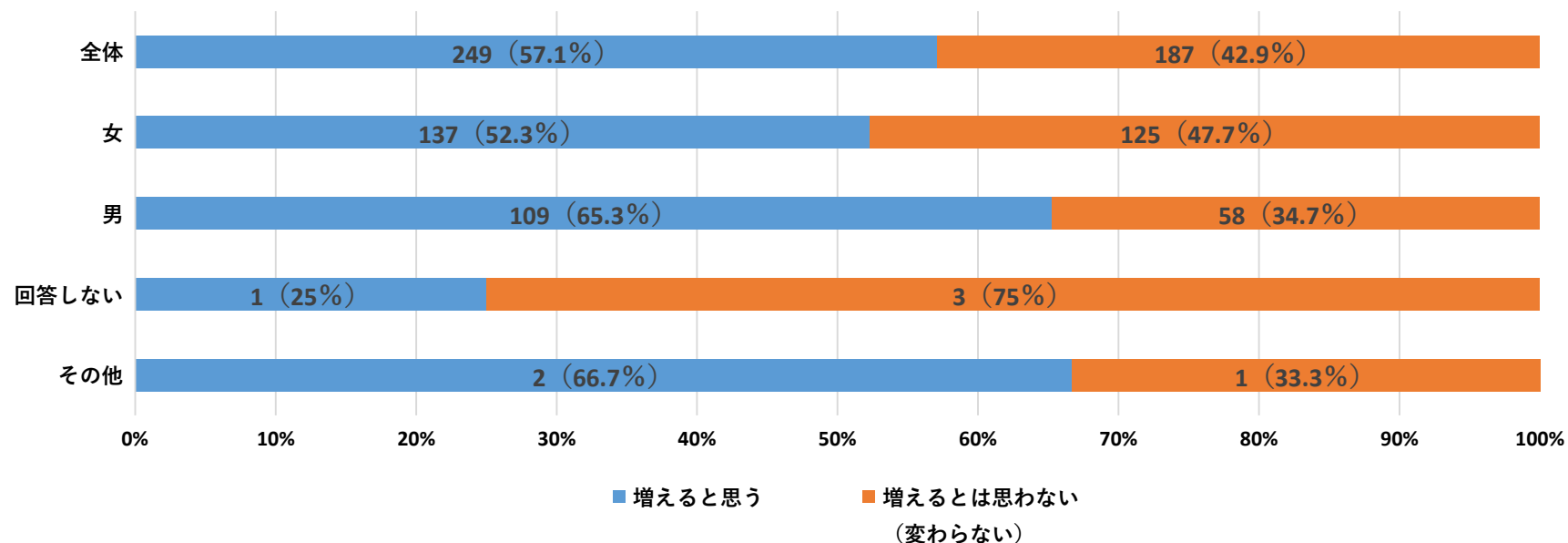
住所

住所	高知県内	高知県外	計
人数	416	20	436
割合	95.4%	4.6%	100.0%

【問 1】 4月1日から男性の育児休業が取得しやすくなったことをご存じですか？



【問2】「育児・介護休業法」改正を機に、育児休業を取得する男性は
増えると思いますか？



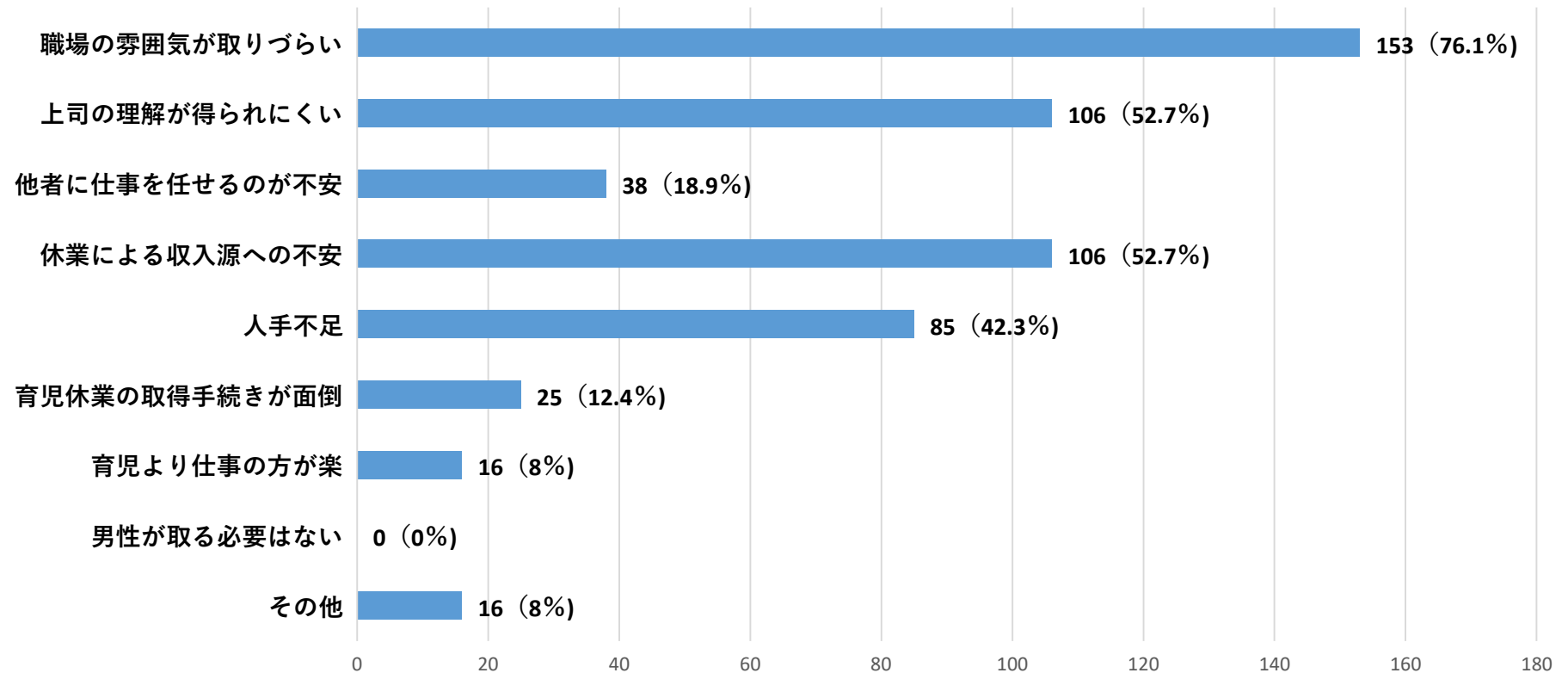
【問1】 4月1日から男性の育児休業が取得しやすくなったことをご存じですか？

4月1日から男性の育児休業が取得しやすくなったことをご存じですか？	知っていた	知らなかった	聞いたこと	計
全体	121	197	115	433
割合	27.9%	45.5%	26.6%	
女	71	127	64	262
割合	27.1%	48.5%	24.4%	
男	50	68	49	167
割合	29.9%	40.7%	29.3%	
その他		2	1	3
割合		66.7%	33.3%	
回答しない		2	2	4
割合		50.0%	50.0%	

【問2】 「育児・介護休業法」改正を機に、育児休業を取得する男性は増えると思いますか？

「育児・介護休業法」改正を機に、育児休業を取得する男性は増えると思いますか？	増えると思う	思わない (変わらない)	計
全体	247	186	433
割合	57.0%	43.0%	
男	109	58	167
割合	65.3%	34.7%	
女	137	125	262
割合	52.3%	47.7%	
その他	2	1	3
割合	66.7%	33.3%	
回答しない	1	3	4
割合	25.0%	75.0%	

【問2－②】「思わない」を選択された方への質問
男性が育児休業を取得しづらいと思う理由（選択式・複数回答）



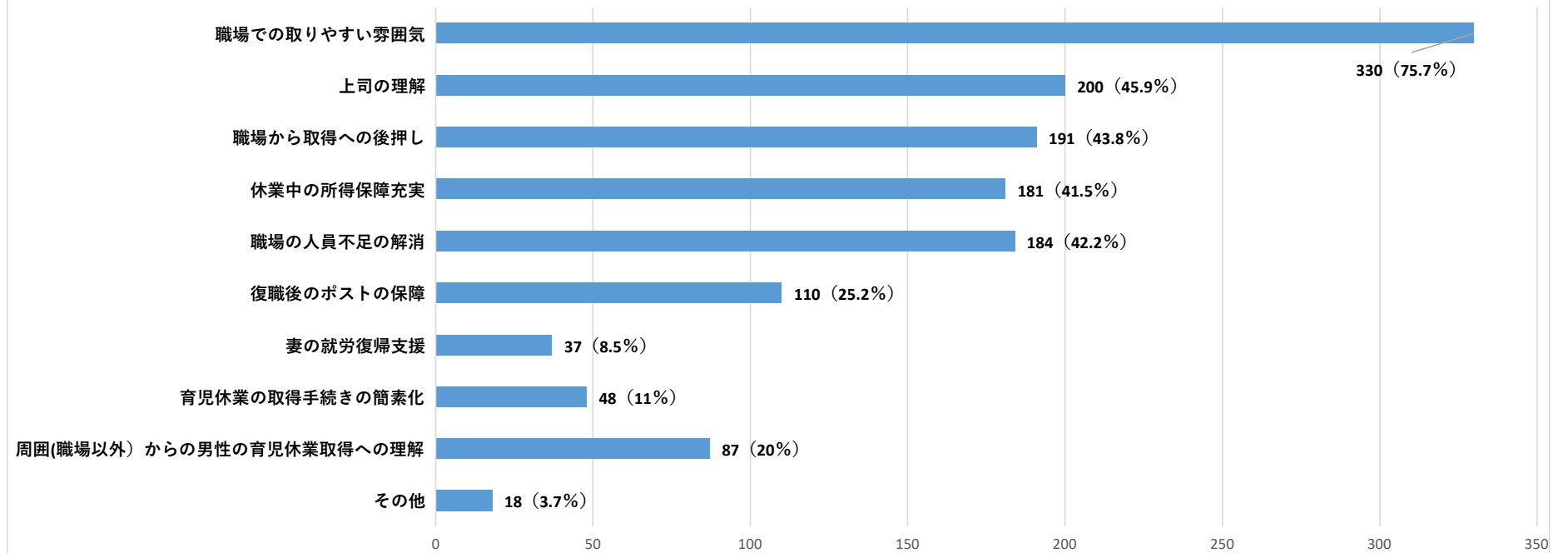
（回答者数：201人、回答数合計／回答者数：271.1%）

【問2－②】（「増えると思わない」を選択された方対象）男性が育児休業を取得しづらいと思う理由。（選択式・複数回答）

理由	人数	割合
職場の雰囲気が取りづらい	153	76.1%
上司の理解が得られにくい	106	52.7%
他者に仕事を任せるのが不安	38	18.9%
休業による収入源への不安	106	52.7%
人手不足	85	42.3%
育児休業の取得手続きが面倒	25	12.4%
育児より仕事の方が楽	16	8.0%
男性が取る必要がない	－	－
その他	16	8.0%

※その他意見は別途記載

【問3】 男性の育児休業取得を進めるために、必要と思われること。(選択式・複数回答)



(回答者数：436人、回答数合計／回答者数：)

【問3】 男性の育児休業取得を進めるために、必要と思われること。（選択式・複数回答）

※その他の意見は別途記載

理由	人数	割合
職場での取りやすい雰囲気	330	75.7%
上司の理解	200	45.9%
職場から取得への後押し	191	43.8%
休業中の所得保障充実	181	41.5%
職場の人員不足の解消	184	42.2%
復職後のポストの保障	110	25.2%
妻の就労復帰支援	37	8.5%
育児休業の取得手続きの簡素化	48	11.0%
周囲(職場以外)からの男性の育児休業取得への理解	87	20.0%
その他	18	3.7%

【問3】男性の育児休業取得を進めるために必要と思われること。（その他意見）

《女性》

（19 歳以下）

- ・ 本人や家族の意識の変換。

（20 歳代）

- ・ 女性の正規雇用。

（40 歳代）

- ・ 本人の育児への責任感、意欲。

（50 歳代）

- ・ 日常の家事育児への意識。

《男性》

（20 歳代）

- ・ 男性の育児休業より、育児支援制度の充実化のほうが必要ではないか。育児休業で給与が上がらないのも取得率には関わるかもしれない。
- ・ 復帰後の職員へのケア。

（30 歳代）

- ・ 部署外の人に相談しやすい仕組み、啓蒙活動。
- ・ 上記の項目を含む会社からの後押しと会社への支援。
- ・ 育休を取得させた管理職の評価の向上。
- ・ 取得率を上げたいなら、命令制にすればいい。

（40 歳代）

- ・ 当たり前のことになること。
- ・ 法的に取得しないと事業主がペナルティを受けるようにしないと、日本では意識改革が難しい。学内規則でもいいので、強制的にとる制度にしないと、自分の時に取れなかった世代の理解を得られるのは難しい。上司が「取得していいよ」は、良いではない。「取りなさい」と言って初めて職場環境が整うのだと思います。
- ・ 人的措置等業務上のフォロー。
- ・ 育児休業の義務化。
- ・ 業務の効率化。

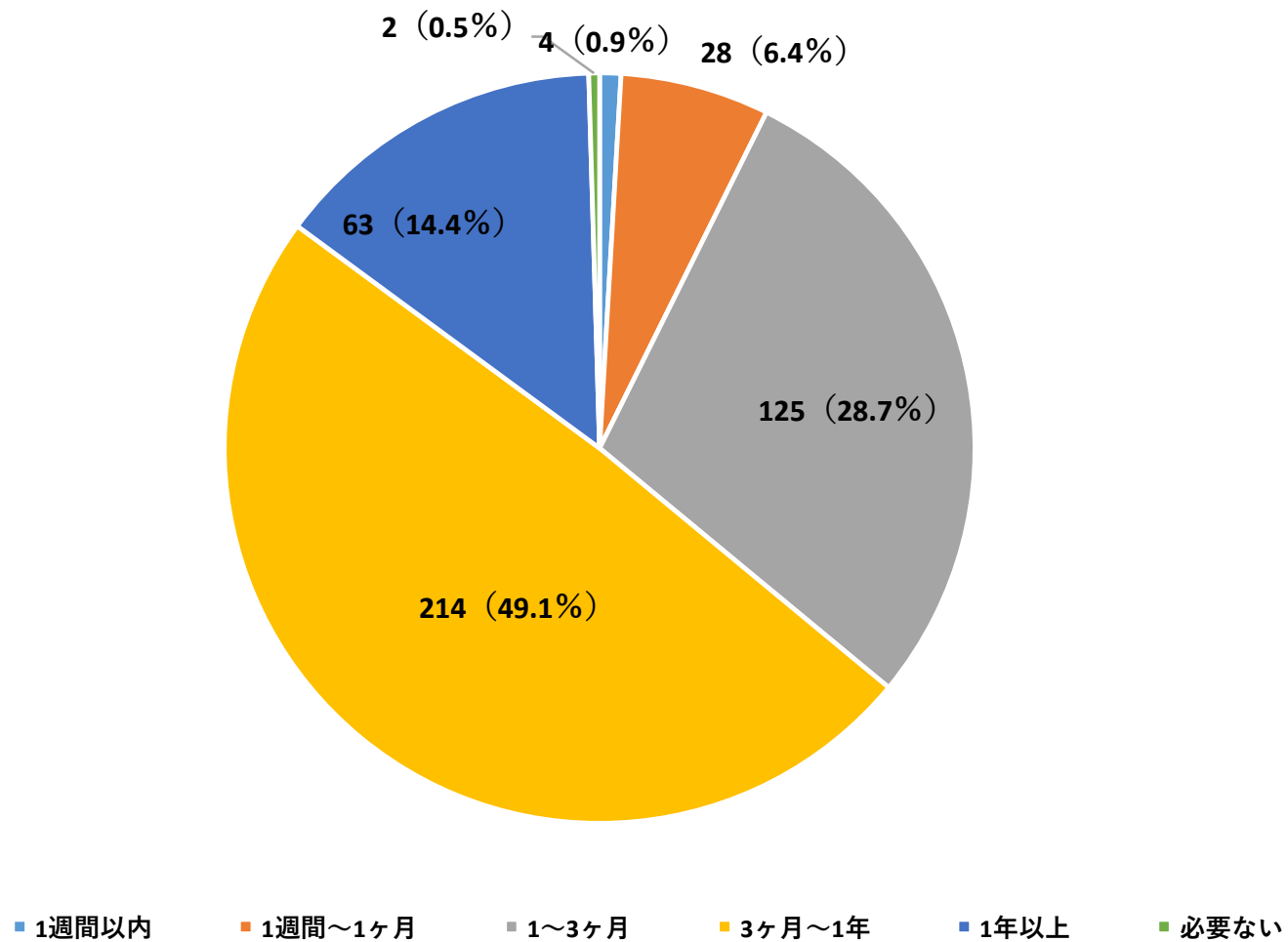
（50 歳代）

- ・ 育児休業を前提とした人員の加配。
- ・ 育児休業の義務化。

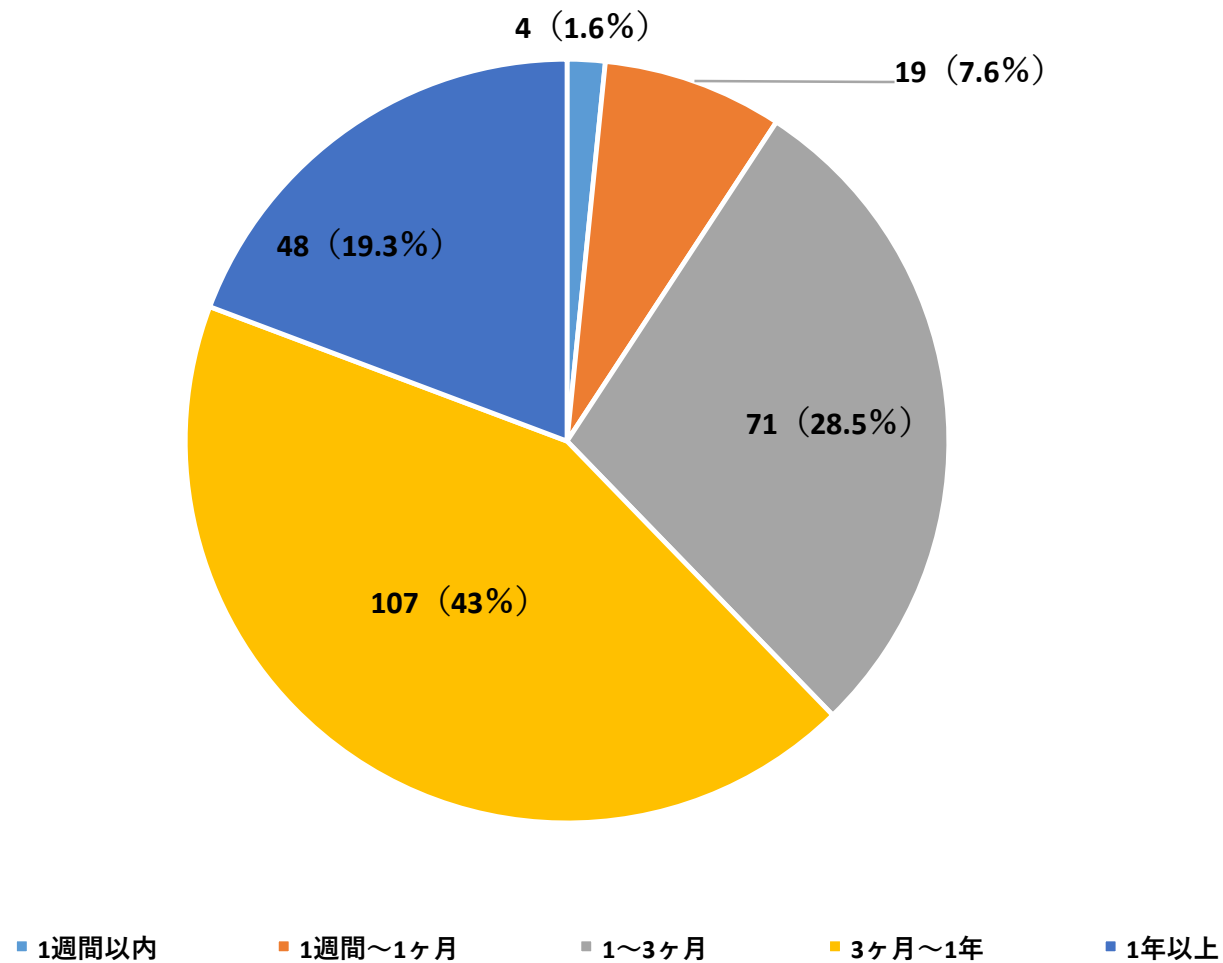
（50 歳代）

- ・ 雇用主への罰則の強化。

【問4】男性の育児休業期間は、どれくらいの期間あるのが望ましいと思いますか？
(全体)

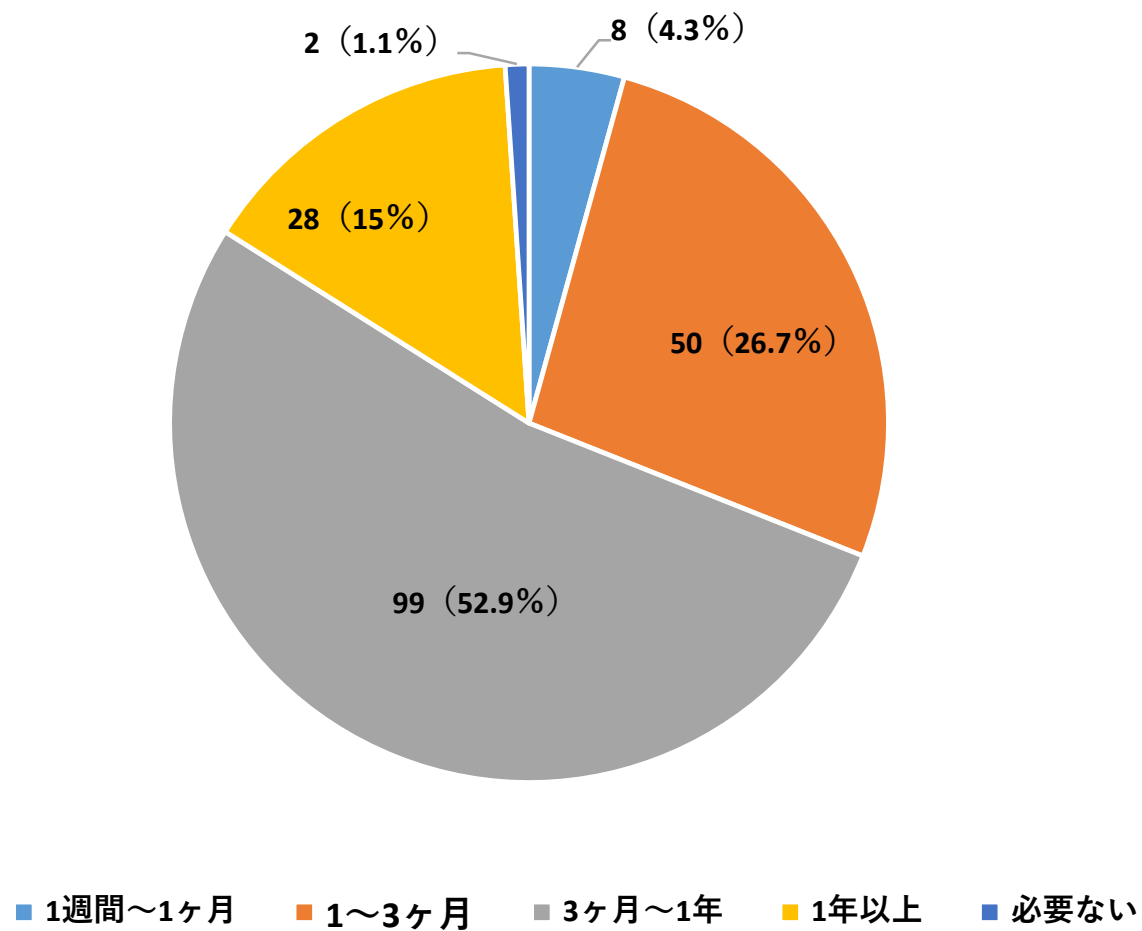


【問4】 男性の育児休業期間は、どれくらいの期間あるのが望ましいと思いますか？
(問2で「増えると思う」と回答した人のうち)



【問4】 男性の育児休業期間は、どれくらいの期間あるのが望ましいと思いますか？

(問2で「増えるとは思わない」と回答した人のうち)



【問4】 男性の育児休業期間は、どれくらいの期間あるのが望ましいと思いますか？

望ましい育児休業期間 (全体)	3日以内	1週間以内	1週間～1ヶ月	1～3ヶ月	3ヶ月～1年	1年以上	必要ない	計
全体数		4	28	125	214	63	2	436
割合		0.9%	6.4%	28.7%	49.1%	14.4%	0.5%	
グラフ表示	0(0%)	4(0.9%)	28(6.4%)	125(28.7%)	214(49.1%)	63(14.4%)	2(0.5%)	
女総数		4	14	68	139	37		262
19歳以下		1	3	25	41	15		85
割合		1.2%	3.5%	29.4%	48.2%	17.6%		
20歳代			2	14	48	16		80
割合			2.5%	17.5%	60.0%	20.0%		
30歳代			2	14	17	2		35
割合			5.7%	40.0%	48.6%	5.7%		
40歳代		2	3	7	18	2		32
割合		6.3%	9.4%	21.9%	56.3%	6.3%		
50歳代		1	3	7	10	1		22
割合		4.5%	13.6%	31.8%	45.5%	4.5%		
60歳代			1		5	1		7
割合			14.3%		71.4%	14.3%		
80歳代				1				1
割合				100.0%				
男総数			14	55	72	24	2	167
19歳以下				2	10	3		15
割合				13.3%	66.7%	20.0%		
20歳代			1	11	9	4	1	26
割合			3.8%	42.3%	34.6%	15.4%	3.8%	
30歳代			7	12	14	5		38
割合			18.4%	31.6%	36.8%	13.2%		
40歳代			1	11	18	6	1	37
割合			2.7%	29.7%	48.6%	16.2%	2.7%	
50歳代			3	17	18	3		41
割合			7.3%	41.5%	43.9%	7.3%		
60歳代			2	2	3	3		10
割合			20.0%	20.0%	30.0%	30.0%		
その他					2	1		3
19歳以下						1		1
割合						100.0%		
20歳代					2			2
割合					100.0%			
回答しない				2	1	1		4
19歳以下					1			1
割合					100.0%			
30歳代				1				1
割合				100.0%				
40歳代				1		1		2
割合				50.0%		50.0%		

【問4】 男性の育児休業期間は、どれくらいの期間あるのが望ましいと思いますか？

望ましい育児休業期間 (「増えると思う」と考える人のうち)	3日以内	1週間以内	1週間～1ヶ月	1～3ヶ月	3ヶ月～1年	1年以上	必要ない	計
全体数		4	19	71	107	48		249
割合		1.6%	7.6%	28.5%	43.0%	19.3%		
グラフ表示	0(0%)	4(1.6%)	19(7.6%)	71(28.5%)	107(43%)	48(19.3%)	0(0%)	
女総数		4	9	35	60	29		137
19歳以下		1	3	14	21	7		46
割合		2.2%	6.5%	30.4%	45.7%	15.2%		
20歳代			2	7	22	9		40
割合			5.0%	17.5%	55.0%	22.5%		
30歳代			2	6	9	1		18
割合			11.1%	33.3%	50.0%	5.6%		
40歳代		2		1	4	12		19
割合		10.5%		5.3%	21.1%	63.2%		
50歳代		1	1	6	2			10
割合		10.0%	10.0%	60.0%	20.0%			
60歳代			1		2			3
割合			33.3%		66.7%			
80歳代				1				1
割合				100.0%				
男総数			10	36	45	18		109
19歳以下					5	3		8
割合					62.5%	37.5%		
20歳代			1	7	6	4		18
割合			5.6%	38.9%	33.3%	22.2%		
30歳代			5	8	8	3		24
割合			20.8%	33.3%	33.3%	12.5%		
40歳代				6	11	4		21
割合				28.6%	52.4%	19.0%		
50歳代			2	13	14	2		31
割合			6.5%	41.9%	45.2%	6.5%		
60歳代			2	2	1	2		7
割合			28.6%	28.6%	14.3%	28.6%		
その他					2			2
20歳代					2			2
割合					100.0%			
回答しない						1		1
40歳代						1		1
割合						100.0%		

【問4】 男性の育児休業期間は、どれくらいの期間あるのが望ましいと思いますか？

望ましい育児休業期間 (「増えるとは思わない」と考える人のうち)	3日以内	1週間以内	1週間～1ヶ月	1～3ヶ月	3ヶ月～1年	1年以上	必要ない	計
全体数			8	50	99	28	2	187
割合			4.3%	26.7%	52.9%	15.0%	1.1%	
グラフ表示	0(0%)	0(0%)	8(4.3%)	50(26.7%)	99(52.9%)	28(15%)	2(1.1%)	
女総数			4	30	71	20		125
19歳以下				11	20	8		39
割合				28.2%	51.3%	20.5%		
20歳代				7	26	7		40
割合				17.5%	65.0%	17.5%		
30歳代				8	8	1		17
割合				47.1%	47.1%	5.9%		
40歳代			2	3	6	2		13
割合			15.4%	23.1%	46.2%	15.4%		
50歳代			2	1	8	1		12
割合			16.7%	8.3%	66.7%	8.3%		
60歳代					3	1		4
割合					75.0%	25.0%		
男総数			4	19	27	6	2	58
19歳以下				2	5			7
割合				28.6%	71.4%			
20歳代				4	3		1	8
割合				50.0%	37.5%		12.5%	
30歳代			2	4	6	2		14
割合			14.3%	28.6%	42.9%	14.3%		
40歳代			1	5	7	2	1	16
割合			6.3%	31.3%	43.8%	12.5%	6.3%	
50歳代			1	4	4	1		10
割合			10.0%	40.0%	40.0%	10.0%		
60歳代					2	1		3
割合					66.7%	33.3%		
その他						1		1
19歳以下						1		1
割合						100.0%		
回答しない				1	1	1		3
19歳以下					1			1
割合					100.0%			
30歳代				1				1
割合				100.0%				
40歳代						1		1
割合						100.0%		

【問5】「男性の育児休業」に関するご意見・希望・思いなどをご記入ください。
(自由意見)

《女性》

(19 歳以下)

- ・まとまった休み以外にも、時間休やスポット的に使える育児休暇があると便利だと思う。
- ・これからの時代で確実に必要とされる。
- ・子供には母親だけでなく父親からの愛情も必要だと思うので積極的に育児休暇が取れる社会になってほしいと思います。
- ・男性の育児休業を取得しやすくし、育児をする男性が当たり前になってほしい。
- ・女性だけでなく、男性も一緒に育児をする意識が生まれていったらいいなと思います。
- ・男性が育児休暇をとりやすくなると、その分育児休暇に対して理解がある人が増えるということでもあると思うので、より女性が育児休暇をとりやすい職場環境が作られるのではないかと期待がある。
- ・なかなか今まで男性が育児休業を取った例が少ないと思うので、まずは色々な会社が育児休業への理解を進めて取得しやすい雰囲気にすることが大切ではないかと思います。
- ・男性も女性と同じ期間育児休業を取るべきではないかと考える。
- ・性別の括りにとらわれず、社会全体で子育てを支援していくことが大切だと思う。

(20 歳代)

- ・男性の育児休業は義務化するべきだと思います。
- ・男性の育児休業の普及自体は素晴らしいことですが、まず男女の賃金格差や待遇の格差を変える必要があるかと思います。収入の面で考えれば現在の制度では男性が働き女性が育児のためにキャリアを諦め、低賃金で昇進の見込めない非正規雇用で再就職するのが期待できる収入という点ではもっとも効率のよい形となっており、そして収入は子供の将来の選択肢の幅に直結する要素だからです。男女の賃金格差は、実質的に「我が子にかけられる教育費」or「男性が乳幼児期の実子を世話する経験」という選択を強いています。父親となった男性にその自覚が必要なのは言うまでもありませんが、社会構造の問題を「時代はイクメンパパ」「理解ある職場」などと個人の意識の持ちように矮小化するのは欺瞞だと思います。問題は感情や意識ではなく厳然たる中間層の崩壊・貧困にあるからです。
- ・育休をとる人の担当の仕事をどうするのが、人手不足の今の問題になるのではないかと感じた。
- ・男性の育児休業は3週間ほどの短い期間が多い。もっと長い期間取れた方が奥さんの助けになって良いと思った。
- ・性差による育児休業の取りやすさ、取りづらさというものが今回の法改正を機に改善されていくことを期待しています。
- ・核家族化が進む中で、男性が育児休業を取りやすくなる環境にしていくことが望ましいが、育児休業を取っても育児にあまり参加せず、休暇気分である男性もいると聞く。ただ育児休業を取ることを後押しするだけでなく、なぜ育児休業を取得することが必要なのかその目的を周知していく必要があると思う。

- ・女性の子育ての負担を減らすという目的での男性の育休ではなく、男性と女性で2人でお金・子育て共に考えるという姿勢になって欲しい。金銭面を男性だけに頼り、子育ては女性の仕事という考えで家庭を成り立たすというようなことが減るといいなと思う。
- ・男性も育休を取ってもらった方が、女性も働きやすくなります。家庭活動への理解も得られるし、男性が育休を取っている間女性が働いて社会との接点をもつことも選択肢に入るし、仕事の囲い込みや属人化が減れば企業としてのリスクマネジメントにもなると思います。家庭活動を「職場の迷惑」ととらえる風潮が少しでもなくなってほしいと切に思います。
- ・自分の夫は「育休取るなら有給取るわ」と言って結局有給も取らなかった。取らなければならないと義務づけるくらいでないと、男性自身の考え方や職場の雰囲気（男女問わず）は大きくは変わらないのかもしれないが、これからの子育て世代にとって今回の整備がプラスになることを願います。

(30 歳代)

- ・取得のみを促しても、実際に夫が取得した妻から世話が2倍になったなどの声が聞こえることもある。制度の充実と同時に、育児の責任を同じくすることや、そもそもの育児というものの男性の認識や意識改革も同時に進める必要があると考える。また、女性側も、委ねることや任せることをしなければ休業中の母親と父親の関係性が深まるだけではなく、逆のパターンもあり得ると考える。休業を希望する男性が必ずしも育児に積極的かといえば、そこに相関があるのか・・・
- ・男性の育児休業必要だと思いますが、それだと家庭の収入も減るのも現実かなと思います。男性が育児休業を取っている間は、女性が働きやすくなるという環境を整えることも大切なんではないかと思います。外国とかは、片方が育休中に片方が子育てをするという形をとっている家庭が多いと思うので。
- ・特に核家族における男性の育休は必須と考えます。育児支援者がいない母親にとって、父親の助けが必要なのはもとより、育児支援が親族等から得られるとしても、それを前提にしている父親が育児を覚えることができません。父が親として育ちません。母親としても、自分の親（子どもの祖父母）を頼る方が楽とも感じますが、そのままでは父母間のコミュニケーションが育ちません。育児は体力的にも精神的にも、とても負荷がかかることです。育児のスタート時点から、父母でしんどさを共有し、どうしたら乗り越えられるか試行錯誤することが、その後の夫婦、家族関係の基礎になるのではないのでしょうか。「母方実家がみてくれるから」だけで、父親育休をとれる機会を見過ごさないでほしい。母親にとっても子にとっても、家庭の中に父「親」がいてほしいのです。父が親になれる機会の保障を、法的にだけではなく社会的にもその意識が浸透してほしいと願っています。

(40 歳代)

- ・夫が育児に参画しようとしなくて、というお悩みをよく聞きますが、こういう夫は育児休業しても妻のストレスになるだけだろうな、とも思います。
- ・とりあえず職場の人員不足を解消しないと、職場が育休をとる事になかなか好意的になれないと思う。
- ・育児休暇をとるためには、他の職員に負担がかからないよう、フォロー体制をしっかりと整備してもらう必要がある。

- ・男性の育休が増えていると聞きますが、数日や1週間の取得では単なる休みで終わってしまうように思います。家事・育児への男性の意識を変え、育休終了後も夫婦で協力していけるようにしていくために、数カ月単位の期間を育休に充ててほしいと感じます。職場の理解も大事ですね。完全に休むのではなく、週1回は勤務するという柔軟な形になれば、職場の負担感が減り、本人も復帰しやすいのではないかと感じます。
- ・育児休業が義務付けられて、今までよりは増えると思いますが、増えたからと言って女性が思う育児参加を男性が必ずしもしてくれるかというところではないと思っています。育児に積極的な人は育児休業がなくても年休を取ったりしていたと思いますが、休暇が義務付けられたからといって休んでもゲームをしたり、夫の食事の準備が必要になれば女性の負担は増えるだけだと思います。休みを取ることを促進することで少し効果は出ると思いますが課題解決の本質ははもっと違うところではないかと思っています。
- ・夫が3ヶ月取得しました。正直なところ、あまり育児や家事を任せきりにはできませんでしたが（私の母親の手助けが必要だった）、家事や育児を体験することで実感というか感覚を身につけたという印象があります。ですので、育児休業以降の家事や育児への理解が深まったと思います。
- ・男性の育休がもたらす可能性の大きさを発信することが必要。こどもとの関係、パートナーとの関係、キャリア形成、社会との関わりにおいて得られることは大きいはず。経験は誰もができるものではなく、貴重な経験だということも話して伝えていくべき。収入面、職場の理解は必須だと思う。

(50 歳代)

- ・育児休業制度については、使う方もその周りの方も安心して休めて、戻ってくる時に仕事ができる環境になるよう、教育が必要と思っています。育児休業取得を進める質問については、全て必要と思います。
- ・まずは短期間でもいいので、取得することが広がる第一歩となるのではないのでしょうか。
- ・男性側のイクボス研修の推進。

(60 歳代)

- ・自分の時代には女性の育児休業すらありませんでした。法制度が整備され女性の取得は進んだものの、男性の取得は極端に低くて、取りたくても取れない男性が、潜在的に多数いるのではないかと思います。男性の育児休業が当たり前の社会に早くなることを望みます。
- ・男性の育児休業が本当に育児にしか使用できないようにしてほしい。育児認識協力せず、自分の趣味に費やすのは本末転倒。周りを見るとありがち過ぎて懸念を払拭できない。

(80 歳代)

- ・育児の手助けをしてほしいと思います。赤ちゃんを連れてお母さんがとっても大変なんですから、ぜひお父さんが子供とお母さんの力になってほしいです。

《男性》

(19 歳以下)

- ・男性でも女性でも育児休業の取得が当たり前のようにでき、ゆとりを持って生活できるような社会が実現すると嬉しい。

- ・女性の方に負担が偏ることを防ぐ為に、どんどん男性の育児休業が広がればいいなと思います。
- ・男性の育児休業をもっと浸透させるべき
- ・男性が育児休業を取りやすいような職場の雰囲気を作ることが大切だと思う。
- ・私はまだ十代で、実際の職場の男性の育休に関する扱われ方はよくわからないのですが、このような活動の結果により良い育休環境が整う時代が来ることを期待しています。

(20 歳代)

- ・特にありません。
- ・職員は育児での疲弊、久しぶりの職場復帰なのでケアが必要かと思われます。
- ・もし自分が将来妻子を持てたら、育児休業を無理にでも取ると思います。理解は少ないと思われますが、自ら選んだパートナーと共に子どもを育てるためには必要不可欠と考えます。

(30 歳代)

- ・育児休業すると生計の主たる部分が失われる。収入補償がないと現実的には取れない
別部署に相談しやすい状況や、自分からではなく、組織から育休取りますか？と聞いて欲しい。
- ・当時、忙しくて利用できる雰囲気ではなかった（勝手にそう感じただけかもだが）ので、そうならないような仕組みになってほしいです。
- ・女性は出産にあたり、産後休暇等の取得を余儀なくされているが、男性は育児休業を取るかどうか
選択できるという恵まれた立ち位置にある。だからこそ、身の回りで積極的に育児休業を取得する
男性が増えてほしいと思う。
- ・0 歳児の育児は予期せぬトラブルの連続なので、まとまった「育児休業」とは別に、単発で取得で
きる休暇制度があると助かる。
- ・現在の就労環境で男性が育児休暇を取るのとは不可能に近い(そもそも希望を出すこと自体が不可能)。
人員不足、職場の無理解など様々な理由があるが、「男性の育児休暇」を出さなければ罰則という
ほどの強い強制力が必要。
- ・育休取得を後押しするような政策や取り組み、育休を取得した場合は補助金をもらえるなど。
- ・負担が分散されるのは望ましいことだと思う
- ・法で明文化して、職場が後押しする風潮ができて、生活している 2 人の気持ちがズレていると上
手くいかないことが多い。取得への動きが過熱すると、逆に窮屈な思いをする夫婦もいるかもしれ
ない。自分の場合は、毎日帰りが深夜だったので、とても取得できるような雰囲気ではなかった。
- ・育児休業で人事評価が下がることが懸念される。

(40 歳代)

- ・基本的に育児は女性が向いている。
- ・この期間に子どもと多く触れ、成長を感じることは子どもの育児のうえで重要でパートナーとも良
好な関係が築け、子どもにとって最良の環境がもたらされる。
- ・現実問題として就学前までは保育所に託児することも必要になるので、保育士の給与待遇の大幅向
上も併せて取り上げてほしいです。あと、周りの人間からすると、3 か月の育休取得より 1 年間取
得してもらった方が、業務の引継ぎスムーズな気がします。3 か月だと、未練というか半端な引継

ぎで終わるので、どんと取得してもらって 8/1 学内異動のタイミングで復職（ないし育休取得）すれば、職場周りの負担は軽減されると思います。取得時期の考慮は必要。だって人間は感情で動く生き物ですもの。自分の時はこうだったのに最近の～はしんどいですよ。

- ・日本では普及しない
- ・出生前1ヶ月から3歳になるまでの間に最低1ヶ月男性が育児休業をとることとといった感じで義務化しなければ、進展は見られないと思う。
- ・休業している人をカバーする人を支援する施策が必要。
- ・休業中の所得保証率をもっと上げないと厳しいと思う。
- ・取得したとして、男性がどこまで育児に携われるのか疑問。
- ・男性の育児休業経験者です。3人目の出産時の2回目の取得は約1年間の休業をしましたが、1回目の時よりも職場や世間の理解が進んでいると感じました。取得促進の整備がされても取得者数や取得期間が増えることには時間がかかるとは思いますが、最初に必要なのは本人の取得に向けての意思表示かと思いますので、迷っている方はまず希望を伝えることが大事だと思います。
- ・特になし
- ・妻が悪阻で苦しい時期、いったん帰宅して家事育児を済ませてから職場に戻って深夜まで業務をした経験があるので、いざ出産後も育休が満足に取得できるとは到底思えない。

(50 歳代)

- ・リモートワークも進んできたので、完全な休業ではなく部分休業等の選択肢が増えると良いのではないかと思います。
- ・こどもの日々の成長を間近で見える事ができる貴重な機会なので是非とも取得してほしい。
2人（現在大学生・中学生）の子育てを経験しましたが、このような制度が利用できれば、妻の負担はいくらかは軽減できたでしょう。規則の充実を願います。
- ・社会全体に余裕がないのでとれない。年休すらすべて消化できない状態の中では、育児休業がとりやすい環境にはならない。霞ヶ関が休みもなく不夜城で動いている間は無理ではないか。
- ・子どもがいないため、とくにありません。
- ・女性が、男性がというより、夫婦が同時に一定期間の休暇（短時間勤務を含む）を取得できるような制度が良いのではないかとと思う。
- ・育児休業をする職員の職務に関係する職員が負担にならないように、臨時職員での対応ではなく、業務を周知している人員を加配すれば、男性の育児休業を受け入れることが当たり前の職場になる。
- ・これから日本の人口が毎年1%減少し、職場の人手不足が慢性化する事が予想されます。会社(同僚)は、男性だけでなく女性の育児休業も認めにくいことになるでしょう。育児休業の拡充も大事ですが、取れない育児休業より、働き手を確保するため公的な幼稚園の拡充が大事ではないでしょうか。
- ・男子の育児休暇という言葉自体がなくなる時代になってほしい 子供が産まれれば男女関係なく育児に関わり休暇が取れるようになってほしい

(50 歳代)

- ・一年以上休業すれば人員に気を使わなくて済む
- ・母親の育児負担軽減（母親のうつ予防）、母親の状況理解と子どもとの関係構築が将来役に立つ。

- ・休業しても、昇給等の不利益がなく、生涯賃金への影響がないなら、男性の取得が進むと思います。
- ・現役の時は、土日保育を行いました。
- ・長期的視点に立って、学校教育における男性への育児教育の強化が必要。

《その他》

(19 歳以下)

- ・パートナーの方も常に完璧な状態で子供に接せられる訳では無いので、「自分たちの子だ」という認識を強く持ち互いに助け合う事が大切だと考える。今、丁度社会人の家族に対する価値観がすり変わっていく時期だと思うので、もう少しの辛抱ではないだろうか。

ソーレWEBアンケート テーマ「男性の育児休業」

〈質問事項〉

— 基本事項 —

- ・あなたの性別
(女・男・その他・回答しない)
- ・あなたの住所
(高知県内・高知県外)
- ・あなたの年齢
(19歳以下・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳代・80歳以上)

【問1】

4月1日から男性の育児休業が取得しやすくなったことをご存じですか？

(選択肢) 知っていた・聞いたことがある・知らなかった

【問2】

育児-2・介護休業法」改正を機に、育児休業を取得する男性は増えると思いますか？

(選択肢) 増えると思う・増えるとは思わない(変わらない)

【問2-②】

「思わない」を選択された方。男性が育児休業を取得しづらいと思う理由を選択してください。(複数回答)

〔選択肢〕

- ・職場の雰囲気を取りづらい
- ・上司の理解が得られにくい
- ・他者に仕事を任せるのが不安
- ・休業による収入源への不安
- ・人手不足
- ・育児休業の取得手続きが面倒
- ・育児より仕事の方が楽
- ・男性が取る必要はない
- ・その他

【問3】

男性の育児休業取得を進めるために、必要と思われることを下記から選択してください（複数回答）。

〔選択肢〕

- ・ 職場での取りやすい雰囲気
- ・ 上司の理解
- ・ 職場からの取得への後押し
- ・ 休業中の所得保障充実
- ・ 職場の人員不足の解消
- ・ 復職後のポストの保障
- ・ 妻の就労復帰支援
- ・ 育児休業の取得手続きの簡素化
- ・ 周囲（職場以外）からの男性の育児休業取得への理解
- ・ その他

【問4】

男性の育児休業期間は、どれくらいの期間あるのが望ましいと思いますか？

〔選択肢〕

- ・ 3日以内
- ・ 1週間以内
- ・ 1週間～1ヶ月
- ・ 1～3ヶ月
- ・ 1年以上
- ・ 必要ない

【問5】

「男性の育児休業」に関するご意見・希望・思いなどをご記入ください。

（自由コメント）